

これで完璧！

# 新築外構工事完全ガイド

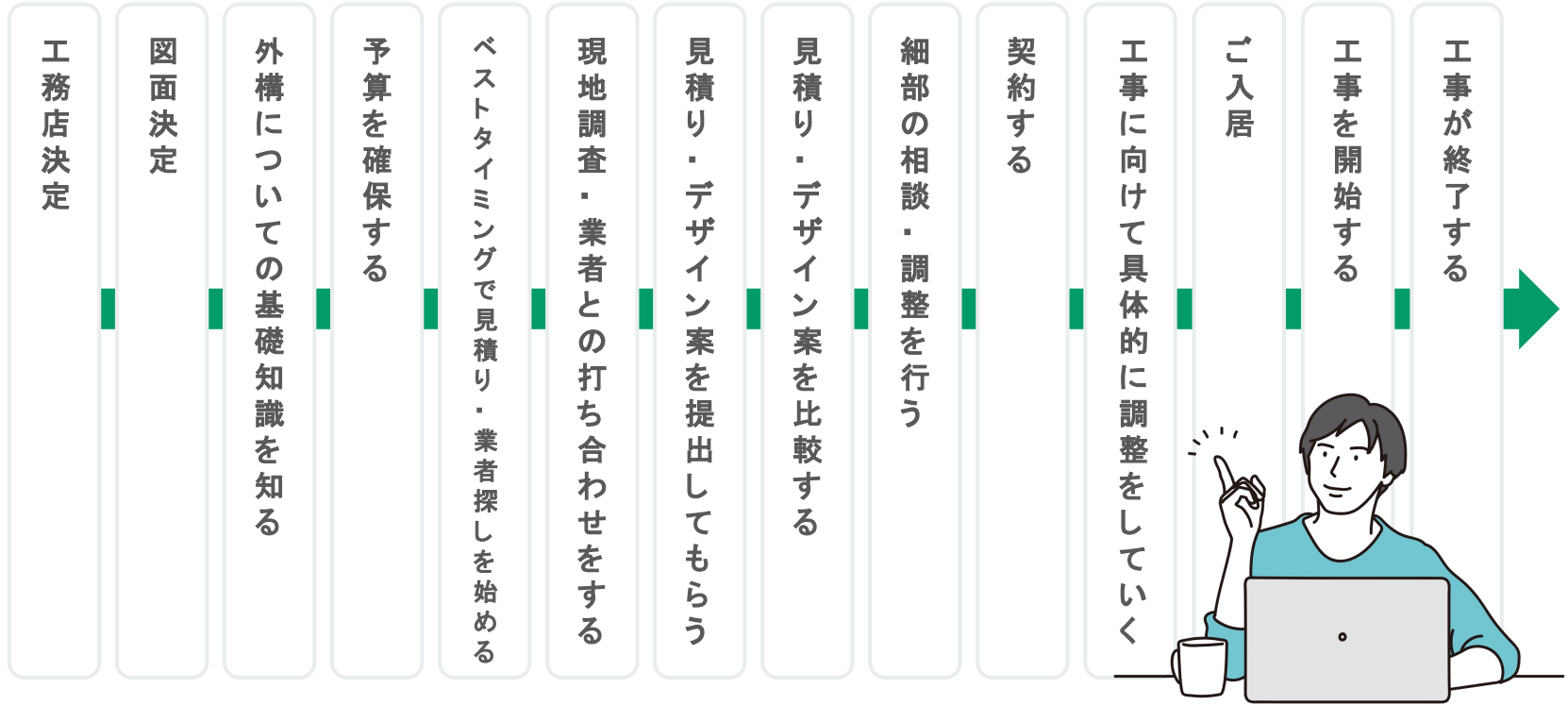




# 目次

- 外構工事完成までのロードマップ
- 外構工事で行う工事
- 3種類の外構タイプ
- クローズ外構
- セミクローズ外構
- クローズ外構
- 外構工事の予算は最低でも 150万円は用意しよう
- 外構工事の検討を始めるベストタイミング
- 新築外構の見積り・打ち合わせをすべきではないタイミング
- 業者との打ち合わせまでにすべきこと
- 外構業者の選び方
- 契約までの流れ
- 見積りサイトを活用して業者を見つけよう
- まずは見積り比較してみるのがおすすめ
- 契約までの流れ
- 現地調査・打ち合わせ
- 見積り・パース提出
- 細部の調整
- 契約
- 工事の開始～終了
- よくある質問 30選連発！

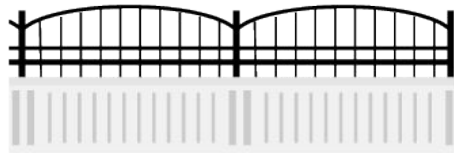
# 外構工事完成までのロードマップ



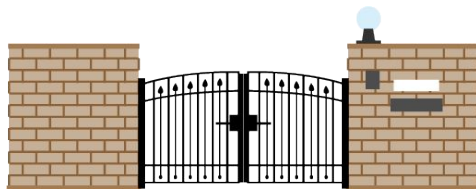


## 外構工事で行う工事

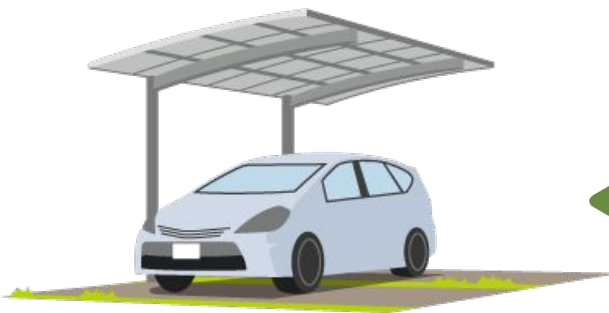
外構工事とは「門扉・門柱」「フェンス」「アプローチ」「カーポート」「植栽」など、家の外側(敷地内)を構成する構造物の工事を指します。



■ フェンス



■ 門扉・門柱



■ カーポート



■ 植栽



■ アプローチ



## 3種類の外構タイプ

外構は3つのタイプがあります。  
まずはこういったタイプがあるのか把握しましょう。



## クローズ外構



「門、フェンス、ブロック塀、生垣などで住宅の敷地を囲い、住宅と道路の境界線が明確にわかる外構」です。

### 特徴

- ✓ プライバシーを確保できる
- ✓ 他のタイプと比較して外構工事費用が高い





## セミクローズ外構



「塀やフェンスで完全に周囲を囲むのではなく、必要な場所にのみ設置する外構」のこと。

### 特徴

- ✓ プライベートな空間と見晴らしの良い部分をバランスよく組み合わせることができる
- ✓ 死角がしやすい場所もある



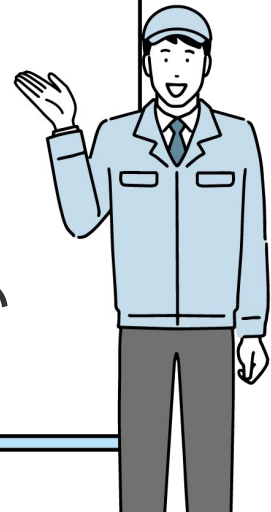
# オープン外構



「塀やフェンスで完全に周囲を囲むのではなく、必要な場所にのみ設置する外構」です。

## 特徴

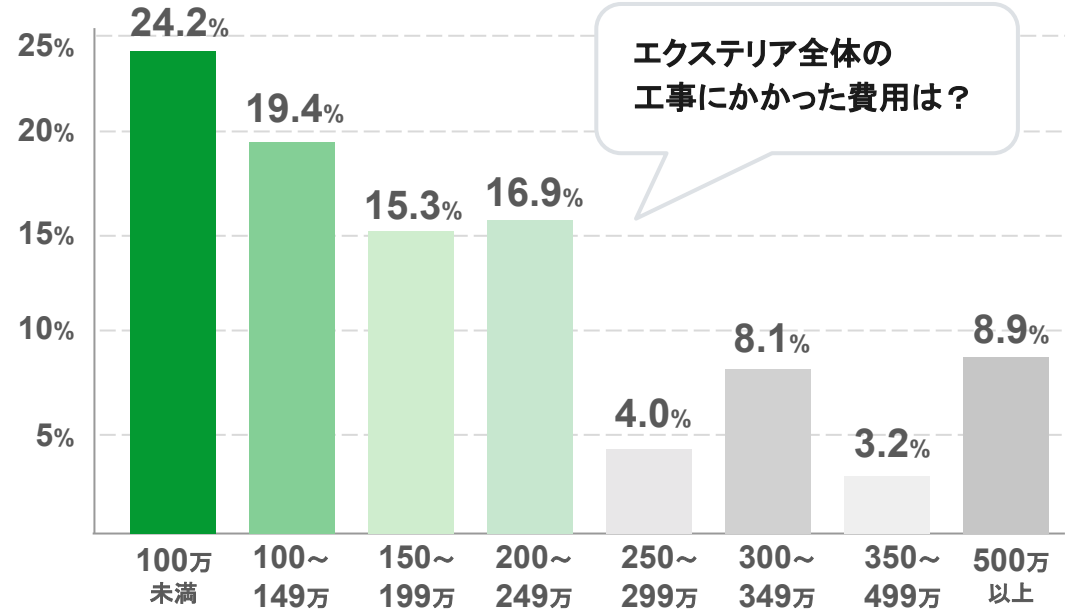
- ✓ 開放感があり死角もできにくい
- ✓ 外から中の様子が見えやすい
- ✓ 高い塀やフェンスが必要ない分安い







# 新築外構の予算は最低でも 150万円は用意しよう



エクステリア全体の  
工事にかかった費用は？

外構工事は  
平均で **150万円** ほど  
かかります。

予算100万円の方は一式の工事だと一部のみの工事になってしまう恐れがあるため、**最低でも150万円**は予算を確保しておきたいところです。

※ 相場には地域差・やりたい内容によって大きく変わるためあくまで目安となります ※



## 外構工事の検討を始めるタイミング

工事検討のタイミング	おすすめ度	理由
図面がまだ決まっていない状態始める	△	<ul style="list-style-type: none"><li>・図面が確定していないため外構使用イメージを施主様でも立てにくく効果的な提案がしにくい</li><li>・ギリギリで工事を行うよりは余裕をもって取り組める</li></ul>
着工が始まったぐらいから動き始める	◎	<ul style="list-style-type: none"><li>・外構のイメージがしやすい</li><li>・図面や建物の確定事項が多いため内容の濃い打ち合わせができる</li><li>・工事期間が十分で施工ミスが起こりにくい</li></ul>
引き渡しが終わってから動き始める	△	<ul style="list-style-type: none"><li>・住み始めているため必要な工事を見つけやすい</li><li>・住んでいるのに外構が終わっていない状態になる</li><li>・生活に不便が生じる</li></ul>
引き渡し1か月間に動き始める	×	<ul style="list-style-type: none"><li>・打合せを重ねる時間が少ない</li><li>・施工トラブルが起きやすい</li><li>・予算不足で価格勝負をさせると手抜きにつながりやすい</li></ul>

引渡し日間近から検討する場合は引き渡し後からゆっくり打ち合わせや調整を行っていくのがおすすめです。

※ハウスメーカーによって塀・フェンスなどの一次外構工事があるため必ずタイミングはハウスメーカーに相談しましょう。



# 見積り・打ち合わせをすべきではないタイミング

引き渡し1か月間前にギリギリで急いで工事する のは**非常に危険**と言えます。

ギリギリで工事をする

## 3つのリスク

1. 外構業者と打合せを重ねる時間が少ない
2. 業者とすりあわせがうまくいかない
3. 施工トラブルが起きやすい



ギリギリでやるのであれば引き渡しが終わってから、じっくり外構工事のプランを考えていく方が満足度が高くなる可能性が高いです。

必要な工事や住んでからの庭活用のイメージもつきやすくなるために、節約することにも繋がります。

## 住んでからよりイメージしやすくなる箇所

建物との庭デザインのバランス・隣のお家との境界・道路から玄関までの動線・駐輪スペースの広さ・庭の水はけ

# 業者との打ち合わせまでにすべきこと

## すべきこと 1

イメージをつけておく

おすすめ参考サイト

**エクステリア Park**

エクスプラット  
エクステリアパーク

参考サイト:<https://www.exterior-park.jp/course>

## すべきこと 2

建物の図面を用意する

建物の図面を用意する

- ✓ 配置図
- ✓ 求積図
- ✓ 全フロアの平面図
- ✓ 立面図
- ✓ 建物のカラーパース

## すべきこと 3

現実的な予算を確保する

参考

平均費用 **150万円**

予算中央値 **200万円**

※ハウスメーカーから100万円と言われている場合、足りない場合がほとんどです。



# ハウスメーカーに依頼する3つのメリット

## メリット 1

### 建物と同時に完成する

ハウスメーカーに依頼すると建物と同時に進められるため、引き渡し時には外構・エクステリアも完成しているケースが多い。

## メリット 2

### アフターサービスが充実している

アフターサービスは充実しているため、施工後に何かあった時にも安心。

## メリット 3

### 専門業者に依頼する手間を省ける

別途専門業者を探して依頼する必要がなく、ハウスメーカーの担当者に窓口を一元化できます。費用面で一元化できるのも、見逃せないメリット。



# 専門業者に依頼する3つのメリット

## メリット 1

### こだわりの外構を実現できる

豊富な知識と経験あり。**提案の引き出しが多いため、施主の要望を汲み取りながらこだわりの提案を実現してくれます。**

## メリット 2

### スピーディーに工事ができる

専門業者の場合は1件ごとの依頼となるため**進行が早い傾向あり**。だいたいの工事期間は約2週間から2ヶ月。

## メリット 3

### 臨機応変な対応が可能

ハウスメーカーのようにマニュアル通りにしなくても良いケースあり。直接依頼を受けた専門業者であればもう少し柔軟な対応ができます。

## 外構の専門業者の選び方



大切な  
3つのポイント

1. **工事内容に適した** 業者
2. **実績が豊富**な業者
3. **安いだけではない** 業者

特に新築外構の工事の場合、デザインイメージを作ってくれる業者かはチェックしましょう。  
クオリティの高いイメージ図を作成できるのはひと握りの優良業者 のため優良な外構専門業者の  
1つの目安となります。

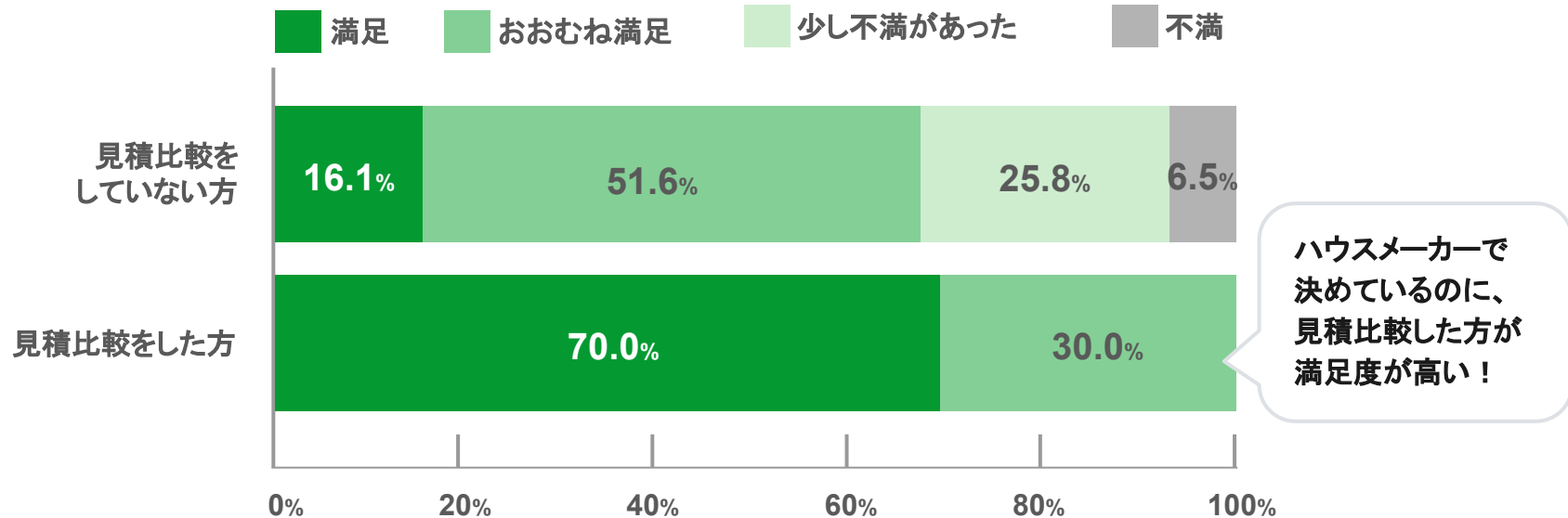
# 見積りサイトを活用して業者を見つけよう

	外構・エクステリア パートナーズ	ハウスメーカー	自分で見つけた外構業者
3D案作成	デザイン提案できる 業者をご紹介	できない業者もある	できない業者もある
価格	適正価格	高い	業者による
見積り比較	最大3社で可能	できない	できない
施工実績	実績が豊富な業者 のみをご紹介	実績は多めだから 確認しにくい	業者による
アフターサービス	地域密着店で長期的な 付き合いが可能	メンテナンスなどは 対応不可なことも	業者による



## まずは見積り比較してみるのがおすすめ

ハウスメーカーに外構工事をお願いするにしても、見積り比較をしたうえで依頼していると満足度がかなり高いという結果になりました。



# 契約までの流れ

## ハウスメーカーに依頼する場合

担当者から見積り・イメージをもらう

打ち合わせを行い細部を調整する

契約をする



ハウスメーカーに依頼する場合、  
図面や現地調査・業者の選定などを  
ハウスメーカー側がやってくれています。

## 専門業者に依頼する場合

業者を探してお問い合わせをする

現地調査・初回打ち合わせを行う

見積りを受け取る

打ち合わせを行い細部を調整する

契約をする



## 現地調査・打ち合わせ

外構業者が現地の調査を行う  
とともに、プランニングに向け  
てご要望をお伺いします。



「図面だけで見積もりは出来ないの  
ですか?」とよく聞かれますが、図面  
には記載されていない要素を現地で確  
認してプランニングをしますので、**現地  
調査は必須**です。

### 現地調査で確認する項目例



隣地の状況



隣家の窓の位置



既存設備



周辺の交通状況

# 見積り・パース提出



現地調査から2週間ほどで、  
見積り・パース図の作成が完了します。



## 見積り書確認のポイント

- ✓ 予算に沿った見積り金額になっているか
- ✓ 各項目(舗装・フェンス・門扉)などが  
それぞれの金額・単価が記載されているか
- ✓ 人が通るスペースが確保・通りやすいように  
なっているか



## 細部の調整

初回の提案は理想に合わせたプランのため **予算オーバー** になるケースがほとんどです。

予算オーバーした場合、どの工事を優先するか・  
商材を変更するか決め見積りを調整しましょう。  
フェンスやカーポートはグレードによって大きく金額が変わるため調整することも可能です。

### 最低限やっておきたい工事 4点

- ✓ 玄関～道路までの  
舗装(アプローチ)



- ✓ 雑草対策



- ✓ 境界部分の塀・フェンス



- ✓ 駐車場



## 契約

提案内容に納得できたら契約書を交わして契約します。  
遅くとも引き渡しの1ヶ月前には依頼先と契約しておきましょう。

知って  
おくと安心

契約が遅い場合の  
デメリットは？



1. 希望の工事時期を選べない  
ことがある
2. 届くまでに時間のかかる  
商品が間に合わない



## 工事の開始～終了

工事期間は工事の内容や施工会社ごとにも異なりますが **2～8週間(2ヶ月)程度**です。



工事期間

4～8週間



工事期間

3～6週間



工事期間

3～7週間

## よくある質問 30連発！



質問

外構はやっていなくてもいい？

外構を行わない選択も可能ですが、見た目や利便性・防犯性を考えれば必要最低限はやっておきましょう。  
後で外構工事を行うことも可能です。



回答



質問

外構でこうすればよかった点はある？

駐車場の舗装や道路との境界に関する工事がよく挙げられます。  
具体的な失敗事項についてはこちらの記事で解説しています。



回答





質問

外構・エクステリア工事費用は住宅ローンに組み込める？

外構工事費用を住宅ローンに組み込むことが可能です。  
ただし、事前に銀行に確認しておきましょう。



回答



質問

オープン外構からクローズ外構・セミクローズ外構に後から  
できる？

後からクローズ外構やセミクローズ外構に変更することは可能  
です。  
ただし、費用は50~100万円ほどかかることも珍しくはないため、  
慎重に検討しましょう。



回答



質問

ハウスメーカーから提示された外構プランがひどい・しょぼい時はどうしたらいい？

外構業者に別途相談するのがおすすめです。  
また、複数の業者に見積もりを依頼し、比較検討することも重要です。



回答



質問

注文住宅の外構工事は建物の引き渡し前と後どちらにすると良いですか？

見栄え、利便性の観点から建物の引渡し前に外構工事を行うのがおすすめです。  
ただし、予算や工期の関係でできない場合は住み始めてからゆっくり検討していくのも一つの手となります。



回答



質問

専門業者に依頼して引き渡し前に工事することはできませんか？

専門業者による外構工事は、施主様に建物の引き渡しが終わった後にしか施工できません。  
建物の所有権は、引き渡しが終わるまでハウスメーカーにあります。  
そのため、たとえ施主様の希望であっても、ハウスメーカーを通さずに専門業者が出入りするのには難しいのです。



回答



質問

外構工事を引き渡し後に行う場合はどのような流れになりますか？

専門業者に工事を依頼する場合、以下のような流れになります。  
業者選定→現地調査/打ち合わせ→見積書/パース図の提出→見積調整→契約→工事



回答



質問

ハウスメーカーの外構工事を断るタイミングを教えてください

庭の植物は、気候やメンテナンスの容易さを考慮して選ぶとよいです。また、長期間維持できるものが好まれます。



回答



質問

フェンスはDIYで設置することもできますか？

背の低い簡易的なフェンスなら、DIY経験があれば設置が可能です。  
ただし、目隠し用の高さのあるフェンスは低いフェンスよりもしっかり安定させなければならず、大量のセメントを使った設置や隣家のブロックに手を加えての設置は、失敗やトラブルの可能性が高いためおすすめしません。



回答



質問

フェンスの設置工事はどれくらいの日数がかかりますか？

フェンスの設置工事自体にかかる日数は、約2～3日が目安です。ただし、フェンスのデザインや設置の範囲、基礎工事の有無、天候などによっても工事期間は変わるため、事前に業者に現地調査や見積りの確認を依頼しておきましょう。



回答



質問

外構でシンボルツリーの代わりになるものはありますか？

シンボルツリーと同じく、住宅に自然の演出を加えたい場合、ミニ花壇や鉢植えなどの植栽がおすすめです。小さな植物なら季節に合わせて手軽に植え替えすることができます。



回答



質問

外構のシンボルツリーにおすすめしない樹木はありますか？

外構のフェンスや塀は、防犯対策として有効です。  
また、プライバシーの確保にも重要です。



回答



質問

外構の見積もりは何社くらいからとったほうがいいでしょうか？

外構は敷地や建物の形状やデザインに合わせてつくるため複数のプランが考えられます。  
業者によって提案する内容が変わるため、少なくとも 3社程度から見積もりをとると比較検討がしやすいのでおすすめです。



回答



質問

外構の見積りが遅いと感じたらいつから催促してもいいですか？

大規模な工事ではなく、一般的な新築の外構工事であれば、1~2週間が過ぎたら催促していいタイミングです。



回答



質問

外構費用は平均していくらくらいですか？

外構・エクステリアパートナーズで過去の新築外構の工事金額を算出した結果、工事費用の平均は150万円でした。



回答



質問

ポストやインターホンはどこに設置すると良いでしょうか？

外構・エクステリアパートナーズで過去の新築外構の工事金額を算出した結果、工事費用の平均は150万円でした。



回答



質問

外構工事の見積もりは何日かかる？

外構工事の見積もりにかかる日数は平均して1~2週間、大規模なものや高額になるものなら3週間程度を目安として考えます。



回答



質問

外構工事の工事費用や着手金はいつ払う？

工事着手金が工事費の30%、中間金が30%、完成後40%となるケースが多いです。  
ただし、工事費用や工事会社によって比率は変化しますので、依頼先の工事会社に確認してみましょう。



回答





質問

外構リフォームの見積りが1ヶ月経っても来ないのは遅すぎですか？

外構工事の見積もりにかかる日数は平均して1~2週間、大規模なものや高額になるものなら3週間程度を目安として考えます。1ヶ月経っても音沙汰がない場合や、事前に約束した期限を過ぎている場合は遅すぎるといえるでしょう。



回答



質問

建物で資金を使い果たし、外構にかけられる費用が少なくて困っています。外構ローンをお得に組む方法を教えてください。

費用がどうしてもない場合、リフォームローンを利用してみましょう。  
すでに住宅ローンを借り入れている金融機関であれば、リフォームローンの優遇金利制度を利用できる場合があります。



回答



質問

外構費用を住宅ローンの追加融資を申請して支払うことは  
できますか？

一度借りた住宅ローンの返済中に外構費用が必要になったからと  
いって、追加融資を受けることは原則できません。  
住宅ローンはあくまで住宅を購入するための融資であり、それ以外  
の目的は想定していないためです。  
ただし、住宅ローンを借り換えすることにより、状況次第で追加融資  
を受けた場合と同じくらいの金額を借り入れられる可能性もありま  
す。



回答



質問

目隠しフェンスはどのくらいの高さにするべきですか？

目隠しフェンスの高さは、一般的に地面から 180～200cmです。  
それだけの高さがあれば十分に視線を遮れます。



回答



質問

庭に駐車場をつくる費用はどのくらいですか？

車1台分あたりの駐車場の設置費用は30~40万円かかります。  
ただし、砂利にするのかコンクリートにするのかでも大きく変わります。



回答



質問

ブロック塀とフェンスはどちらが安い？

基本的にはブロック塀よりフェンスの方が相場価格は安くなります。

単価の目安は1㎡あたり下記の通りです。

- ブロック塀のみ: 約1~2.5万円
- ブロック塀+フェンスの組み合わせ: 約1~2.5万円



回答



質問

新築外構・エクステリア工事費用を抑えるコツは？

新築時の外構・エクステリア工事費用を安く抑えるコツは次の3つです。

- 工事する箇所を厳選する
- デザインをシンプルにする
- 複数業者の見積もりをしっかりと比較検討する



回答



質問

予算100万円だとどれくらい工事ができる？

お庭の規模にもよりますが外構一式をすべて終えるには厳しい可能性が高いです。

必要最低限しか工事できないかの可能性があるため。カーポートや植栽もつけれないため明らかに中途半端な外構になってしまうでしょう。



回答



質問

建物とは別にガレージを作ろうとしたら工事会社からできないと言われましたがなぜですか？

ガレージの設置は建築確認申請が必要であり建築士から申請を行わないと違法建築になってしまうためです。  
建築士の不在などでガレージ設置が外構業者によっては建築申請ができない場合があります。



回答



質問

たくさんの商材がありどれにすればいいのかわかりません。

外構業者によっては取り扱いのないメーカーや仕入れに強く安くできる商品もあります。  
どうしてもこれがいい！という商品がなければ提案を聞いて見てから絞っていくのが効率的です。



回答



質問

カーポートかガレージどっちがおすすめ？

カーポートはガレージの半分以下の値段で設置できるケースも多い  
ため、雨風をしのぐだけであればカーポートでも十分かもしれません。

「車が大好きで丁寧に保管したい」「盗難防止対策をしたい」という方  
であればシャッターのつけることができるガレージがおすすめです。  
ただし、建物内につくるガレージは外構業者では対応できないケー  
スがあります。



回答



## おわりに

# 「外構・エクステリアパートナーズ」は完全無料。

地元の専門店で見積もりやデザイン案がわかる上に、日程調整や工事店への契約のお断り代行も行います。

よくしてもらったのに断りの連絡をいれないと行けないのってなんだか申し訳ないですもんね。

現在、ハウスメーカーからお見積もりをもらっているという方も大歓迎です。

まずは「<https://www.gaikouexterior-partners.jp/>」よりお問合せをお待ちしております。



お急ぎの方はこちら:050-1790-2266 無料でお電話いただけます。